京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太郎

印刷人　松久神一郎

發行所　京城西署西小門通（電話六六三）　京城新報社

雜録

鯨屋伊右門翁の鯨談（四）

（一七）脊美鯨　即ち英語のライト、ウエールは肉皮共に食用として妙味を持て居るから古來大に珍重されてゐる、脊の皮が黒漆の様に美麗いので名付けたもので、体長六十尺から八十尺計もある、一体に体格が廣々として北極鯨と違つた處は、頭の端即ち上顎の端にボンネットと云つて肉の凸起したものが、脊美鯨にはあるが北極鯨には無い、體の色は一體に黒く喉と胸が白色で時には全体に斑白色のものもある、牝は牡より大きい、此鯨の特點は水面に浮んで沈む事が少い、夫に呼吸は一回に七八回噴水をして、直ぐに尾羽を高く揚げて海中に沈み、十五分間位で復た浮み出る、鼻の穴が頭の上に二つあつて噴水は斜に後の方に傾いて二筋に爲つて出る、其のまた頭が非常に大くて口が喉の方迄開いて居て眼が小いから外見は醜いけれども鯨の内では一番金になる、そして此の鯨の食餌は小蝦の様な軟体類である。

（一八）脊美に近づく法　一体で脊美鯨は眞後の方が能く見へる物であるから此鯨に近づくには眞正面からでなければいかぬ、うするど少しも鯨に感付かれないで船を進めることが出來る、今でこそ脊美鯨は日本には少いが天保年代には筑前、薩摩、對馬、唐津、平戸等に此の捕鯨の網代が六十八ヶ所もあつたが、弘化、嘉永時代から此の鯨の種類が減つて捕れぬようになつた爲め一時に六十餘ヶ所の網代が休業して仕舞つた、此鯨は能く海面に浮び出て他の鯨の様に捕獲し難くないから、亂獲の結果俄かに影を隠して鯨組が立行かなくなり、段々廢業するに至つたものである、今では朝鮮沖又は紀州より金華山沖に稀に捕れる、で一體日本に來る脊美鯨にはサウザン、ライトウエール即ち南方脊美鯨と云ふ種類で、北氷洋ばかりで無く南洋にも泳いで廻るもので、鬚も北極鯨より短い方である、此の脊美鯨の一種なる。

（一九）北極鯨　即ち米國でグリンランド、ウエール普通アークチック、ウエールと云ふのは氷の在る處を住場所とし一名氷鯨ともいふ頭は全身の長さの三分の一、鬚の數が三百八十枚以上、眞中の一番長いのが十尺から十二三尺位ある、ヲコック海とベーリング海に居るボーヘッドと云ふのは矢張り此一種類で、一頭の重さが約百噸即ち十六万斤もあるのがある、之を陸上の動物に較べると象の八十八頭分、熊の四百頭分に當り、鬚でも四百貫即ち二千五百斤、油が八百石も採れたといふ位で一時間に十二海里を泳ぐ、速力は百四十五馬力に相當する實に想像以外の力である。

●慘憺たる北韓羅南なる記事に就て

十五日の「本紙に慘憺たる北韓羅南」と題する記事中軍隊に於ても充分衛生上の注意を怠らざるも罹病者甚だしき旨を記せしが右は全く誤聞にして十五日軍司令部の取調に依れば實に左の如くなりと云ふ

月別	患者	死亡	治癒
三月	二二	〇	二二
四月	四〇	一	二九
五月	三三	〇	三三
六月	二一（十五日現在）		

四月中出せる一名の死亡者は第六師團兵にして外傷に起因せる急性腹膜炎にて死亡せしもの二師團の交代後一名の死亡者無し

右の表に示せるは北韓一帶の各守備隊より出せる患者の總數にして寧ろ衛生状態の良好なるを證するに足るべく傳染病患者等は一名もこれ無しといふ仍て茲に訂正するもの也

●弾丸除けの胴着

京畿道朔寧郡嶋里の閔鎭西なる者が賊魁延起羽が從來戰鬪の際着用したる鐵製胴着を延起羽より依托せられたることを鐵原管區長の知る所となり去る五日山田上等兵は補助員二名を率ひて搜索したるに果して之を發見して押收したり該胴着は牛皮　枚を縫ひ合はせ韓馬蹄に用ひる鐵釘を間隙なく打ち着けたるものにして長一尺六寸五分、巾一尺七寸のものにて小銃の彈痕二ヶ所ありと頗る參考となるものなりと

地方通信

▲平壤通信

▲黄海道の地税徴收　平壤財務監督局管内に於ける毎年度の地税徴收は平安南北兩道は其の年度内の二月及び十一月の二回に徴收すること内地と毫も異る所なけれども獨り黄海道にありては前年度十一月及び其の年度の二月の二期に徴收する規定となり居れり而して同道四年度の地税徴收成績は極めて不良にして殆ど其の豫定の二分の一にも至らざる有様にて爲めに當財務監督局の地税徴收成績は他の監督局に比し其成績稍々劣るかの觀あるに依り過回各地徴税督勵として四名の局主事出張したるが實際に於て黄海道地方の農民は今年稀有の旱魃に苦み左らぬだに三年度納税さへ遷延に遷延を重ねし今日なれば到底之が納税は困難なるべく依て局主事等は一方納税を督勵すると共に他方に於て彼等農民等に何等か金融の途を講じやるべき方針を取り督勵の旁ら救濟に努むべしと

▲穀類及び雜貨商況　當平壤市場に於ける穀物及び韓人向雜貨の賣行は毎年の例として端午節句以後沈靜となり秋口まで大取引殆んど皆無の有様なるが目下穀物は已に在庫品少なく大豆粟黍米等何れも收穫時期を待たざるべからず雜貨は十一日舊暦端午なりしを以て其以前に於て鏡、櫛、紐、洋傘玩具等賣行き好況を呈したるも爾後は是又た雜穀賣行時期まで恐らくは閑散なるべしと云ふ

▲財務主事會議案　既記の平壤財務署管内各財務署の首席日本人主事會議の開期は愈々來る廿一日より三日間と決定し其諸問案も略脱稿し四年度徴税方針、四年度結數各簿調査及び新三税調査方法の二箇條が主要事項なることと是又た既報の如くにして其細項に至りては來る十四日頃佐々木局長の歸任と共に二三の訂正を加へ決定する筈なり

日本銘刀傳

第百四十席　邑井一講演

津田近江之守（四四）

助直は様子を見て居たが、正面に座つたのが此の村の庄屋、其外の者は皆村方の主人と見ゐる、聽てそれ〜席へ着きますると　庄「さて外のことでもねわが、一同聽いて下さい、三年前から此の御嶽の山に恐ろしいものが出ると云ふことだが、此の頃では人を喰殺したり何かするので、土地の者が誠に困つて御領主様へ願はふとした處が、都へ行つてござつて今はお不在だ、留守番をして居るれ役人様の云ふには、村方の者も五十歳を止まり、十五歳以上の者を選んで退治をしろと云ふこと、弓矢をれ貸し下すつた、何しろ氣の毒だけれども、是れから籤を抽くから、當り籤を取つた者は仕方がねゑから出て行くと云ふことにしやう、どうか皆さん其の積りで承知をして貰ひてね　○「宜しうございます、庄屋さんの言ふ通り委細心得ました　庄「それでは此處に籤を拵らへてあるから、抽いて與んなせエ」助直は其の様子を見て居ましたが何の騒動だかと襖の陰で聽いて居りまする　庄「サアそれ〜一本宛籤を抽きなさい」と殘らず抽終る　庄「ソコで白紙を抽た者は別に出るには及ばぬ中に一本丸の付けて置た籤を抽たのが當りだから、其積りで居て下さい」と聽て庄屋を初め各々籤を開いて見ますると、隅の方にボンヤリして居た一人の老人△「私が當りました　○「ヤア誰かと思つたら新田の六兵衛さんか、氣の毒だが仕方がねゑ、當籤だから出て下せエ　六「宜うございます、當つて見れば仕方がない出ることに致します　庄「何しろ今日から十日のお日延を願つて置いたから、其の積りで支度をして下せエ　六「宜うございます、私の身體に若し過ちでもあつたら、お願ひでございますから、どうか後のことを何分れ頼み申します　庄「アヽ宜いとも、其様なことは心配しねゑでも、後のことは俺が見廻つてやるから　六「どうぞれ願ひ申します」聽て酒肴を山の如くに出したが、目出度いことなら我勝に喰べもいたしまするが、村方新田の六兵衛と云ふ極穩かな人が籤に當つたのでございますから、一同の者は氣の毒に思つて、一人立ち二人立ち、果ては殘つて歸らずしまひました、石屋の太惣次も鼎組をして　太「どうも六兵衛さん、誠に氣の毒なことだが仕方がねエ、どうか心を丈夫にして出掛けなさい　六「ハイ有難うござります、私のやうな年寄が行つたつて、何の役に立たねへ、何しろ岩間又は崖淵に人間の骨があつたの何のと聞けば餘り宜い心持はしねへ、考へて見ると私も前世の罪がまだ滅しないのか、後へ殘るのは婆一人、年を老つても子供と云ふものがねゑから、誠にそれが心配でござります　太「ナニそんなことを氣に掛けずとも、後は庄屋さんが宜いやうにするから心配をしなさんな」と慰めて居る所へ間の襖をスラリと開て這入つて參りました助直、靜かに夫れへ着座を致し　助「只今何かとの話しは次席で殘らず聽いて居りました、實にお察し申します、一體其怪物と申すのは如何なるものでございますか　六「イヤ能く尋ねて與れました、夫れは彿々と云ふ獸ださうで、動もすれば人間に害をすると云ふ、俺見たやうな年老つた者に退治が出來れば宜いがと思ふでがす　助「夫れでは大方人なき所に隠れて居て、人間が山中へ來た處を見て害をするに違ひありません、何を隠さう私も心願あつて、此度江戸へ下り自分の願を立てやうと思ふので、其道すから當地へ參りましたが、私が一心込めて一振の刀を貴郎に鍛ねて上げやう、日數十日の猶豫があると云ふから、向ふ七日の間に乾度鍛ねて上ます、其切味は如何なる岩鐵と雖も、切れぬものはないと、自分から申すは高慢のやうではござる、夫れを以て其怪物を退治なさるが宜い、明日とは云はず今日から私が取掛かる鍛ねて上げやう、之を聽いて六兵衛涙を流し　六「誠に有難いことでございます、れ前様の親切、是れも日頃念じる神佛のお陰ぞうぞ、何分れ頼み申しますと喜んで六兵衛は立歸りました、後へ殘つた其の家の主人太惣次が　太「客人れ前様は誠に親切だ、私の家の道具の類を揃へて與れたので、大抵様子も分つたが、定めしお前様が打つた物は見事であらう、斯う云ふ山中で切味の宜い太刀を求めやうとしてもなか〜容易に手に這入るものではない、幸ひ私の家にも吹壺鍛敷一通りあるから何卒六兵衛爺に拵らへてやつて與んさい　助



東京電報

▲滿鐵社債調査

前期議會に於て滿鐵社債募集案の未募集株券問題に對し豫算委員會にては當局者を難責し結局政府提案に制限を附す事に決したるが元來同社資本金二億萬圓中一億萬圓は政府の所有他の一億萬圓を一般より募集する事となり居り既に二千萬圓を募集し八千萬圓は未募集なるに拘らず政府は資本金全部に對し保證を與へ豫算委員會の反對を招ぎたるなり未募集株を今後如何にすべきか將來經營上大問題なれば政友會の滿韓調査會にては十分の審査をなし當局者に建議する所あるべし(十六日)

▲下士卒の優遇

陸軍下士卒の恩給は從來現役十一年以上の停年々齡に達し又は停限の年齡に達せる者にも服役滿期となり負傷若くは疾病の爲め服役に堪へず免官或は免除したる時之を支給する定めなるが今回陸軍省部内にて下士卒優遇の一策とし恩給年限を十箇年に短縮せんとする議起り目下調査中なり本案にして若し成立せんか現在不足を感じつゝある下士志願者は著しく增加すべし(同上)

▲議院建築調査

議院建築調査委員會に提出すべき案として具体的編成せざるも先年貴衆兩院書記官長並に技術家の歐米大陸を視察したる當時の報告書及各國議院歷史建築其他諸般の材料殆ど整頓せるを以て先づ最初右等の材料を議題とし次で敷地並に工事豫算等を漸次調査に附する方針なりと云ふ(同上)

▲有吉長官執務

新任總務長官有吉忠一氏は昨日上京し本日より統監府出張所に於て執務し山縣副統監の赴任迄は當分東京に於て事務を執るべし(同上)

▲韓太子出發期

韓皇太子は七月十三日東京出發山陽地方を巡遊して八月六日歸京の筈也(同上)

▲新統監渡韓期

寺内統監は來月上旬米國陸軍大臣が比律賓渡航の途次立寄るに付き之れが接待の爲め延期せらるべしとの說を爲す者あるも接待は石本次官に一任し豫定の如く本月二十六日東京出發のことに決定したり(同上)

▲官吏更迭段落

統監府參與官の交迭は過日の更任發表を以て一段落を告げ倉富、木内、小宮、荒井、俵、松井、國分、小松の各參與官の位置は或る時期までは其の儘なりと確聞す(同上)

▲統監と各政黨

寺内新統監は各道に於ける儒生及政黨政社の現在及其の勢力調査方を或る筋に電命せり(同上)

▲宋秉畯の苦悶

滯京中の宋秉畯は此の機を以て政權に有り付くべく杉山等を通じて盛んに桂首相及寺内新統監に運動し居れるが顧みられざる爲め煩悶し居れり(同上)

▲内部次官署理

内部次官は當分缺員とし横井參與官をして署理せしめ各局課に多少の陶汰を行はるべし(同上)

▲全國藥業大會

來る二十日東京に於て全國藥業大會を開き内務大臣諮問中の製藥取締規則に反對の決議を爲したり(同上)

▲豫算審査期日

帝國議會に於ける豫算審査期日に就き現在の二十一日間を以てしては充分の審査の餘地なきにより之れを延長すべしとの議なるが結局質問期間を短縮し審査期日を延長するに至るべしと

▲愛國婦人會批難

愛國婦人會にては一ヶ年に七十萬餘の會員より徵收する會費總高二十餘萬圓の多きに上たるに拘らず同會事業の目的たる廢兵及遺族の救濟に支出する金額は約八万圓の少額に過ぎず其他同社の内幕に就き漸く批難の聲高まれるが同社にても遺族廢兵の救護規則を改正し同時に生産所其の他の刷新を期すべしと(同上)

▲中山書記官滯京

中山統監府書記官は二十五日まで滯京を命ぜられたり(同上)

▲操典改正委員長

陸軍大將大島久直氏は重砲兵操典改正案審査委員長仰せ付られたり(同上)

歐州電報

▲濤貝勒殿下歡迎

清國軍事視察員濤貝勒殿下は獨逸宰相の祝宴に招待せられ且つバーフェル湖上の遊行を試み歡迎盛なり(十六日)

紐育電報

▲ル氏歡迎行列

ルーズベルト氏歡迎と聯絡し土曜日に行はるべき行列に參列の爲めラッスライザ續々當地方に入込みつゝあり

▲タ氏と沿水鐵道

大統領タフト氏は沿水鐵道實地調査の爲め委員會を設立せんことを主張せり(同上)

馬關電報

▲山陽線の不通

昨夜來稀有の大雨にて出水の爲め鐵道は不通となれり(十六日)

▲三浦理事官滯在

東上の途なる三浦京城理事官は汽車不通の爲め當地に滯在せり(同上)

雜報

團体移民の方針

東拓會社にては今秋各府縣より篤農家を招致して韓國の農界一班を紹介し同社創設の大眼目なる移民計劃に資せしめん筈なるが元來韓國の事たる移民恰も當地到る處に存在せるも之を導くに其方法宜しきを得ざれば遂に拓殖の目的を達する能はざるは殷鑑遠からず個人的移住の例に在り是れ單に農業のみならず水産方面に於ても然る實例は現に府縣保護の下に經營せる漁業團は比較的秩序井然として發達進歩せるを見るも獨立從業者は多く失敗の跡を遺しつゝあり故に同社にては原則として團体移民制を採用し規律節制ある計劃を立つる筈なり其結果耕農資金の融通耕地の給付、若くは移民部落の設備等を爲し且つ土地の如きは或る年限を經過すれば彼等の所有に歸し未來を樂ましむるを可とし既に此方針を以て調査内定せり而して實行は明年春夏の季ならん

鎮海灣の警備費

鎮海灣警備費は其の性質繼續費なるに不拘四十三年度に於ける該費は繼續にあらずして單に一箇年度の豫算に經費を計上したるを以て政府部内に於て非難あり茲に來年度豫算編成に當り之れを改めて繼續的計算とせば確實なる財源なからざるべからざるは勿論なるが之れが爲め公債の募集を爲さん事は一般財政方針と相容れざるを以て形式により如何なる繰換へ得べきや大藏當局は未だ決定し居らずと云ふ

●地方税日韓負擔制

地方税に對し最も反抗の態度を持し居るは平安南北道なるが神谷平北道書記官は彼等の蒙を啓かん爲め此頃吾が日本に於ける各府縣民の地方費負擔額を精細に調査し之を韓國現行地方費負擔額に對比して一見明別し易き樣製表し彼等に見せしめたるに其割合よりすれば韓國民の負擔は九牛の一毛にも當らざるに一驚を喫し日本人は如何にして斯かる負擔に堪へ得るかとて殆んど不可解の有樣なりしが神谷書記官の懇篤なる說明を聽きて更に負擔の增加は一方に産業發達の爲めなるを感悟し其効果頗る著しかりしと云ふ

●清國密貿易船拿捕

此程來木浦警察署管内落月島附近に清國密漁船の出沒盛なりとの風說ありしが之れに對し警戒中遂に三隻を發見し深く後來を戒め退去を命じたりしが尚ほ十五日同島影に葉錢五百貫を搭載し來り從前より密々購買せし貨物を滿載し去らんとする密貿易船一隻を發見し目下木浦警察署に留め取調中なりといふ

●憲兵隊の韓語講習

憲兵隊本部及京城同分隊にては過般來韓語講習會設立計劃中なりしが此の程右講習會より下士以上將校以下四五十名の希望者あり同隊附韓國將校二名は教授の任に當り毎週火金の二回に分ち授業し居るが何れも熱心に出席聽講し居り前途頗る良好なりと

●李完用に勅使差遣

韓皇は今朝侍從院侍從李喬永を勅使として在温陽の李完用の許へ遣はされたり聞く所に依れば日本人大官の更迭ありて且つ統監の赴任前に政務を執らざる可らざる必要に迫りたるを以て韓皇は李完用の歸京を促されたるなりと云ふ

社會小言

▲昨本紙治外法權欄に記せるが如く過去一ヶ年間に於ける統監、副統監乃至總務長官の職務は一切石塚事務取扱に因つて辨せられし、人は言ふ統監に曾禰荒助ありしと、余輩盲目なりしか荒禰の存在を認め、遂に荒助の存在を認めずして止む。

▲今や石塚の事務取扱解かれ、新統監副統監及總務長官未だ來任せず、統監府の空虚其絕頂に達す、爾り絕頂に達すと雖も而かも天下は太平なり余輩が半島を北海道に擬する何ぞそれ怪しむに足らん。

▲不肖の子芳川某某雜誌上に父の辯護を爲す、曰く我父統監部下に信賴せざりしに非ず、部下中一人の信賴に値すべき者無かりしなりと、芳川某の言狂ならざれば恐なり。

▲信賴に値すべき部下を作らず亦有せざりしは父統監の不明と不德となり今更ら何を以てか愚痴るを要せん、されど記憶せよ、大人が官吏、商賈人、新聞記者、及デモ政治屋中に大同俱樂部を有せしことを。

▲大同俱樂部、此一名飼具さに西湖直參の性格を語る、今や首領隱退ず、醜類跡を收ざらんと欲するとも能はず、荒島以來の盡力實に御苦勞に存ず。

▲世に寄生蟲的人物程不甲斐なきは非す、彼等は獨存の意義を解せずして蠢動す、彼等の終りは恐怖なり、耻なり、豈思ふても思はざるべけんや

●大邱救世軍の活動

大邱に居住せる救世軍大尉某は爾來非常の活動を試み居れるが去る十二日の如きは五十名の軍徒を率ゐ軍旗を飜へして市中を練り行き要處〱に於て演說を爲し自由の精神を鼓吹して布教に力めつゝありと云ふ

●漁場紛爭と善後策

庵原漁政課長は十七日新義州へ急行することは既報したる如く目下同地には韓海水産の生字引の稱ある釜山理事廳の林技師あり吉原東拓副總裁あり庵原課長の來着を待つて東拓漁場紛爭の善後策を講ずる筈なり

●各部の事務報告書

韓政府各部は寺内統監に對し政務報告書を提出すべく統監府より通達せられ當該各局課は昨今之が調査の爲めに非常の多忙を極め居れりと云ふ

●農務局の溜池調査

農商工部農務局三井技師は忠淸北道洛川方面に於ける溜池調査の爲め十六日同地へ向け出發したりと云ふ

●頭本元貞氏出發期

頭本元貞氏夫妻は明十八日朝當地出發の筈なりしが都合に依り一日延期し十九日午前九時南大門驛出發に決定す

●要塞重砲兵隊檢閲

六月二十七日より四日間鎮海灣要塞重砲兵隊第二期檢閲を施行せらる

●瑞龍寺の入佛式

龍山曹洞宗韓國管理所瑞龍寺に於ては既報の如く來る十九日午後一時より入佛式擧行の豫定なるが同日は韓國内同宗各僧侶を初め來賓千五百人他有緣の信徒參集さるゝ筈なれば頗る盛んを見るならんと

●禁酒會京城支會

日本禁酒同盟會京城支會は毎月第三金曜日旭町三丁目メソヂスト教會にて例會を開催せるが本月二十四日午後八時より原島農商工部畜産課長の講演あるべしと云ふ

●金光大教正演說

金光教會教監大教正佐藤範雄氏は滿洲視察の歸途二十一日頃京城着同廿三日頃同教會仁川支會主催の下に仁川歌舞伎座に於て氏の講演會を開くべく準備中なりと

●港務部長來京

福岡縣港務部獸醫熊井駒之助氏は輸出牛檢疫狀況視察の爲め來る十八九日頃入京の由

●澤田書記官巡視

入京中なりし黃海道書記官澤田乙三氏は十五日出發したるが歸途平山方面を巡視すると云ふ

韓國農業の統計

(隆熙三年十二月末現在)

近年著しき發達をなせる韓國の農業一般を概括的に報導すれば左の如し

▲農業家 二十四萬九千七百七戸百五萬四千六百二人にして内日本人八千二百六十五人四百六十六戸なり

▲耕地面積 水田八万四千七十三町五反歩田三万三千四百十三町一反歩計十一万六千二百三十七町四反歩

▲作付反別 六万四千百八十七町四反歩にして收穫高糯粳合せて五万六千四百十六石なるが一反歩の收穫高は糯米一石一斗四升五合粳米七斗一合陸米一石八升七合なり

▲麥作 麥作付反別は五万五千七百六十八町八反歩にして收穫高五十二万二千四百三石一反の平均九斗七升一合

▲大豆 大豆作反別一萬五千十四町五反歩にして收穫高は十萬二千三百三十六石一反歩平均六斗八升二合なり

▲雜穀 小豆二千百七十二町七反歩收穫一萬二千六百八十二石粟六百十五町七反歩收穫四千五百四十二石稗百十三町六反歩收穫七百三十八石黍百四町三反歩收穫千八百四十二石蜀黍三百四十八町五反歩收穫千八百四十二石玉蜀黍七百七町二反歩二萬七千百四十一石

▲特用作物 棉五千五百二十八町五反歩收穫三十萬四千九百五十五貫大麻百七十七町四反歩收穫二十二萬五百四石苧麻百七十七町四反收穫二千三十二貫煙草千九十四町二反歩收穫二十三万二千七百六十五貫荏二百七十九町四反收穫千三百二十五貫なりとす

▲蠶業 桑反別二萬三千三百七十八町二反歩收繭高三百八十一石

▲家畜家禽 牛六萬四千九百七十四頭馬千九百五十二頭驢馬八十六頭騾馬二十四頭豚二萬二千三百二十九頭山羊八百九十二頭鷄十二萬二千三百九羽

▲牛乳 搾取高三百二十一石にして額格二百六十圓なり

▲物價及賃金 米一石十二圓籾五圓大麥四圓五十錢小麥十圓裸麥五圓燕麥三圓大豆六圓小豆十一圓粟七圓五十錢稗三圓八十錢黍七圓五十錢蜀黍六圓玉蜀黍五圓六十錢實棉一貫目五圓六十錢大麻粗皮五圓六十錢苧麻粗皮五圓荏一石八圓六十四錢牛一頭六十圓馬六十圓驢馬八十圓豚四圓山羊五圓鷄五十錢春蠶繭一石二十圓夏蠶繭十六圓秋蠶繭十八圓生糸一貫五十圓紬糸一貫八圓水田一反歩上百四十圓中百圓下二十圓田一反歩上百二十圓中六十圓下四十圓農作年雇は男百八圓女五十七圓六十錢農作日雇六十錢なりと云ふ

●鴨綠江の伐木事業

鴨綠江伐木公司にては目下材木の取引に努めつゝあり然れども本年は例年に比し取引減少し延いて伐木事業不振の傾向あり去る四月下旬より江口より材木の流下を始め目下流下中にて本年の材木取引の景氣頗る不振の爲め目下北淸地方に材木を輸出すべき時期なるに拘らず昨年同期に比し頗る不振を極めつゝあり之れが原因調査の爲め過般橋江理事長は北淸地方に出張し取調の結果同地方は昨年の凶作に據り經濟界に影響を來せし爲め本年材木商人の安東縣方面に入込むもの減少したるが一因なり昨年物價騰貴せる爲め伐木に從事せる勞働者の賃金多額なるに加へて昨年の賣り殘りたる材木多かりし爲め其の餘波として本年度材木の取引に不况の影響を與へたるものなるが目下の處極めて安値にて實際の取引行はれず公司にては七月頃の景氣恢復の時期を待ちつゝある狀況なり

●水利事業計畫注意

韓國に於ける農事啓發の第一着として水利灌漑の急務なるは何人も認むる處なるが從來經營者の多くは所在地の山勢地理若くは雨雪の關係又は土質等を研究せず唯だ一圖に施設を急ぎたる結果は可惜巨万の計畫を無効に了らしめたる例尠からず現に某々の設計せる水利事業の如き所在の河川を引用灌漑せるも雨期に於ける山野との關係を閑却したる爲め流水滔々として氾濫し却て灌漑以上の慘害を流しつゝあり是れ畢竟如上の研究を怠り漫然施設せる失敗に屬す元來水利計畫には貯水、河川引用、天然の地勢利用等幾多の方法あり千篇一律なるべからず則ち隨處適當の設計を立てざれば遂に徒勞に歸すべく所謂學理と實際の併行を要すと云ふ

●全羅南道沿岸豐漁

全羅南道法聖浦九水浦附近は目下石首魚、鯛、鰆の盛漁期なるが本年は殊に豐漁にして漁夫等の言ふ所によれば十年以來見ざりし所なりと而して來集せる漁船は日本五十餘隻韓國二百餘隻に及び韓漁船は全羅は元より慶南北京畿平安南北道より出漁し各漁獲純益日本側一隻平均五百圓韓國側一隻平均八百圓以上に達したるの好況なるにより各自歡喜し居れるが從つて長煙管を廢して卷煙草を喫し或は美服を身に纏ふが如き弊風を生じ居れりと云ふ

●水野參事官の旅程

内務省參事官水野錬太郎氏は十八日新義州出發平壤開城等の沿線各地視察に四日間を費し三日間京城に滯在し夫れより南行する由尚ほ同氏は韓國移民計畫に關する政府の大方針を奉じて各地の狀況を精細に視察し之に伴ふ万般の調査を爲す筈なれば其結果は近く事實の上に現はるべき筈なりと

●義州城門物産陳列

義州南門は久しく其頽廢に任かせられありしを今度大に修繕の上同樓上に地方物産を陳列し汎く公衆の縱覽に供し以て産業振興に資すべしと云ふ

●馬山瓦斯事業出願

日韓瓦斯會社は馬山電燈の認可を得たるが尚は同地將來の必要に應せん爲め瓦斯事業の認可をも出願せりと云ふ

●頭本氏夫妻の招待

頭本元貞氏夫妻は十七日午後四時より六時迄の間に於て内外紳士淑女をソンタクホテルに招き茶話會を催ふす由

●大屋管理局長歸任

西韓に出張中なる大屋鐵道管理局長は十五日午前平壤鑛業所敷設の線路を視察し同午後義州に向しが十六日歸任

●宮相其他の溫陽行

宮内大臣閔丙奭侍從院卿尹德榮兩氏は別項勅使と同行溫陽に李首相を訪問す

●會計檢査官の一行

古川會計檢査官一行は十六日午前六時二十分馬山發列車にて釜山に向へり

公人私人

▲内田鉎藏(平壤監獄醫師長)十五日平壤より入京三日月旅館へ投宿

▲ウオレン(米國宣教師)十五日入京同

▲皆川彌五郎(大邱監獄醫師長)十五日大邱より入京不知火旅館へ投宿

▲山口正之(仁川淸國警察廳長)同上

▲矢鍋永三郎(公州裁判所長)同歸任

▲沼澤七郎(忠南書記官)十五日鳥致院

▲堀謙(光州財務監督局長)十五日歸任

▲治外法權▼

我の改正關稅率案に對する英人の見越抗議は中々強い樣だ、事に因つたら攻守同盟に不利の影響を及ぼさねば良いが▲英國は古來自由貿易を生命とする國だ、近頃になつてチャンバレンなどが保護政策を皷吹するが債權國としての英國には矢張自由政策が利益なのだ▲トコロへ我日本が保護政策を採用する、其結果として英國の貨物を排斥する、英國たる者默して居られぬ▲蓋し英國にとつては海外特に東洋貿易は其生命だ、日英同盟を作つたのも畢竟は英貨物市場の擁護の爲だ、英人にとつては貿易の利益を措いて東洋に何も用は無いのだ▲ルーズベルトが三度大統領になるだろうとは各新聞の報ずるところだ、併し是は米國の國体を知らぬ門外漢の揣摩說だ、ルーズベルト如何に野心ありとも國体を無視してまで三度白宮に入らんとはしまい▲近頃米人の對日感情が少しでも良くなつて來たのは彼の國デモクラット黨が頭を擡げて來た證據だ曾てマッキンレーやクリーブランドの二選說もあつたが何れも立消になつた豈ルーズベルトのみ除外せられんやだ▲釜山瓦斯電氣株が禽株屋連狂言の種になつた、大池とか迫間とか云ふ人達が折角拵らへた世帶を耗らねば良いがさるにても田舍者の慾深きは困つたものだ▲統監府は當地某々等の認可申請した貯金銀行を許すのかドーか、一体近世に於ける貯金銀行業は一の半慈善事業だ、此半慈善事業を無暗な者にやらすは公衆の爲危險千萬な事だ▲商業會議所議員選擧競爭が益劇しくなるのは歡迎すべき事だ、各候補者は須らく一己獨自に運動すべしだ、目ざし鰯のように珠數繋ぎになつて當選を期するのは男子の耻づるところだ。

京城の裏面（二）

雜貨店主と店員（二）

之れを其の傭人側に聞くと其の言ひ分が面白い、成程自分等は初めから小雜貨の華主回りとなる目的で渡韓したのでないのは事實だ、併し其の目的で渡韓したのでないから不眞面目だと云はれるのは迷惑だ、**不眞面目**だと云へば店主も不眞面目だ、第一我々に支給する**給料**月額を初め八圓から十圓と云つて居るが決して其樣には與れぬ、先づ大抵一年間位は**六圓**乃至**八圓**である、中には十圓も夫れ以上も取つてる人もあるが夫れは三年若しくは五年以上もの勤續者である食事住居に心配がないと云ふのは事實だが心配が無い丈けで人間が活きて行けるか、**食物**は詰め込んで置けば腹が空かぬと云ふ迄で美味いと思ふ程の者は食はせぬ、夫れも澤山にあれば兎に角少々後れると**飯櫃の底**が見へてる**漬物**の如きは賣り物にならぬ上ツ側の**頭**や**尻**の方しか殘つて居らぬ、此所に於て勢ひ**うどん**の一二杯も食うてどになる二杯食へば**十錢**は飛んで終ふ、利益分配のあるのも事實だが一人平均一箇月三百圓の賣上は到底あるものではない、百匁**三錢五厘**か**四錢**の味噌や葱やの**御用**が多いのだもの、夫れも近所なら兎に角假りに店が本町に在るとして**割當區域**に依つては西大門邊から東部方面迄も出掛けねばならぬ**往復**すれば十時から**十一時**になる朝食つた飯が胃袋の中にあり相な筈がない然るに飯は出來て居らぬ**注文**の品を揃へて**持**つて行つて**歸**ると午後**二時**頃ヤレ〳〵と膳に對ふと前に云つた始末、内儀さんが氣の注く家は此樣こともあるまいと思ふと腹が立つ、春や秋なら夫れも兎に角夏の**炎天**に**重荷**を負つて戻つて仮も滿足に食へないと來ては不眞面目にもなりまさア、配當だつて本來ならば三分が高々**五分**なんて**出**せる**道理**がない、物品に依れば其の位しか利益のないものがあるもの、新參者では双方合はして**十圓**の收入が**覺束**ない、衣類なども渦にでも這入つたら着換へたい芝居の好な者もある酒を飲むものもある、暑ければ氷も呑む、寒ければコツプ酒でも行らにやあ凌ぎが附きません**外勤**だけに何んのかんのと**小使錢**も餘計に要る**給料**の七圓は利益の割戻しを貰ふ爲めに資本となつて終ふた結果が三圓か五圓の配當、**寢所**は店の**天井裏**隨分厭にならふおやありまんか（續）

大官連の賭博檢擧

▽場錢一萬五六千圓

社會の風紀を害すること非常なる賭博の流行は非常なるものにて大官紳商のれ歷々さへ行らるゝ事は今は殆んど公然の事實となりぬ上の好む所下之れに傚ふと云ふ譯けか近頃は韓人**兩班**連にして之れに親しむ者多くなり行ける内に去る**十五日**午後八時頃某所の手に捕はれたるは悉く元大臣參事等の官歷あり從一品正二品の位階を有する輩にて彼れ等が勝つた負けたの最中を探知したる所員七八名**現場**に踏み込みたるに極力抵抗するあり逸足出して逃走せるもありしが奮鬪の結果遂に其内五名を**捕縛**し場錢現金**一萬五六千圓**及證據品を**押收**し一同引致目下嚴重に取調中なるが彼れ等の着衣は抵抗格鬪したるに因り甚だ敝汚損し居れり今は其の筋の取調上差支あるべければ氏名等は與り詳細は後報すべし

精米商の濡れ衣

▽正犯人の逮捕、告訴取下

南大門通り待井精米出張所主任樋口長次郎氏は明治町二丁目雜貨商大滿佐太郎に精米賃掛代金請求の爲め過日同人宅を訪問したるに同家は一切締切り戸は釘付けとなり居たるを兎角して引き開け家内に入りしに松村留吉なる者橫臥し居たるより大滿の動靜を訊したるに或る要件を帶び釜山に旅行せしも直ちに歸京すべし自分は留守を托せられし者なりとの事に樋口は然らば現在せる白米を引き渡せと迫りしに松村は知らぬとのみ言ひ張て他出せしにぞ樋口も餘儀なく引き上げしに二三日して大滿は歸城せしに松村も不在にて金品其他衣類數點紛失し居るより近所に聞き合せたる所不在中樋口が來りしとの事を聞き込み同人を相手取り南部署に家宅侵入並に窃盜の告訴を提起し南部署にて樋口を引致取調べの末檢事局に送りたり爾來菱谷檢事主任となり取調中なりしが一方南部署にても其後探査の結果同人の所爲に非ざる事判明したるより告訴人をして其の告訴を取下げしめ同時に松村留吉が京義線驛附近中野崎五郎方に潛伏中なるを探知逮捕嚴重取調べしに同人は滋賀縣生れ前科數犯の曲者にて當地に於ても詐欺窃盜等を働きたることあり大滿方の紛失物も同人が窃取費消したるものなりと目下菱谷檢事の手にて起訴せられ審理中なり

女振り

高等女學校卒業生 長野むめ子

古人曰く鬼も十八番茶も出ばなと、鬼既に然り番茶既に然り、況んや人れや況んや美人たや、豈に然らざらんやである、むめ子さんは本年其の十八である、性質ての縹緻よしで体格も立派であらるゝ、よく古人曰くを擔ぎ出すが此れも又古人曰くである、健全なる思想は健全なる体軀に宿ると、むめ子さんは通學中曾つて一度も病氣等で缺席せられたことがない、學科の内でも歷史、國語、習字、數學は最もお好きであつた、四十二年三月京城高等女學校を優等を以て卒業せられた、京城理事廳屬長野虎太郎君の令妹で、お父さんは木浦附近に於て農場を經營せられて居るとか、快活の質で決して人に悖らはない、万事に骨惜しみをせず立ち働くことは在校中も模範生であつたが今も家庭にあつて自習の傍ら家事に鞅掌する間に十分其の主義を發揮しつゝ御座る、とは女振り子の推測でない仲人口でない立派な證據があるからである、萬一之れを信ずる事が出來んと云ふ不所存者があれば夫れは其の人の不幸である、むめ子さんと共に女振り子は嗤ふて居れば濟むのだ、産地は福岡縣三池郡山口村である。

●吝嗇で亂暴な男

旭町三丁目九十二番戶雜貨商稻垣重次郎方雇人有深順二（二九）は北部開洞果實商綠書鉉（二一）が「ユスラ」を賣りに來りしより呼止め五六個を味ひ代價を問ひしに小形一杯二錢五厘と答ふるより高いとか品が惡るとか故障を列べ買はざりしにぞ韓人は品物を喰ひ乍ら少しも買取らぬとは不都合なりと云ひしに有深は憤慨して此のヨボ生意氣だと怒鳴り飛ばし有合せの衡器を以て韓の頭部を毆打し輕傷を負せたるより南部署に突出され取調の上治療代四十錢にて示談說諭の上放免

●韓人船夫に說諭

仁川寺町二丁目居住の岸本隆之進外四名は知人見送りの爲め一昨日同港に碇泊中の汽船神代丸に艀にて至り波止場に歸來するや約束の艀賃十五錢を與へて立去らんとしたるに同艀乘組の韓人は三十錢を請求し動ともすれば亂暴をも仕兼まじき摸樣なるより其旨仁川署に訴出で警官出張の上由來不當の艀賃を强請する常習あるを嚴しく說諭し示談せしと

●夏の食道樂

手輕で而して料理が良く厭味氣のないと云ふ三拍子揃つた上に更らに眺めが佳いと云ふ景物附きで賣り出したる壽町の食道樂では先頭壽司も調進することにしたが今度は鰻の蒲燒を初めた、うな丼の出來ることも勿論、お好みならばアイスクリームも五人前以上ならば仕出しもする料理や壽司や鰻なんどは多少遠近を問はず出前の御用に應ずることは從前通

●尻を四十撲らる

仁川府内面金谷洞居住の林永在（三二）同李順在（三〇）同畓洞朱炳洪（三三）の三名は去る十四日同洞李万有方にて金錢を賭し骨牌を弄し居たる現行犯を取押へられ一昨日仁川署長より各自笞四十の刑罰に處せられたりと嘸痛かつたらふ

●太嶺師の微笑會 十七日午後四時半より初音町二丁目臨濟寺に於て圓山太嶺師の禪錄例會講演あり參聽隨意

●日韓寺の觀音講 花園町日韓禪寺にては例の如く十七日午後一時より觀音講執行說敎和讃詠歌等あり參聽隨意

▲水遊さ注意方

軒の端に菖蒲ふく端午のれ樂しみも過ぎて昨日今日の暑い日盛りを大バケツに舟と浮べて水鐵砲に餘念ない坊ちやんや孃ちやんを見受けました、水遊びから腹痛を發病したといふことをよく聞きますから小兒科專門の國手に就いて利害を伺つて見ましたが小兒は至つて物事に飽き易いから夏季休みの期間など遊び方に困つてツイ間食を多くねだるやうになり腸を痛めることがある位ですから遊びを種々に更へて遣り成るべく間食を節するやうにしなければならん、それには水遊びなども守をする人の注意に依て却つて好い事になる、狹苦しい市中に住んで充分に活動の出來ない小兒などは何うしても、皮膚が虛弱になつて居りますから冷い水に浸して、皮膚を鍛錬させるには都合の好い遊びであるが、注意しないと身体を永く水に浸したり玩具や何かで汚れた水を飲んだりすると下痢を起したり種々な病氣を惹き起す、夏季になると患者の母がよく昨日水遊び致しましたため下痢を起したといつて來られますが原因を聞いて見ると不消化の果實を食べたり、過食などであつて水遊のために下痢したなどは餘りないやうですよ。

大角力彙報

▽素晴らしき前景氣

東京大角力の一行は愈々明十七日東京出發釜山に二日間興行の上京城に乘込む筈なるが未だ小屋掛も出來ざる今日既に棧敷の申込を爲す者ありて人氣湧くが如し今之れが消息の二三を聞くに

▲韓皇の上覽角力 京城及仁川の打上後は秘園に於て韓皇の上覽ある由にして日取は多分三十日に決定すべしと

▲年寄花籠の入京 年寄花籠平五郎（荒岩）は十七日出發の筈なる一行に先立ち去る十三日東京出發途中に一泊せしを以て十六日夜南大門着入京せし筈

▲番附力士の總出 番附力士の内小常陸は徽毒の爲め休場せざるかを氣遣ひたるが健氣恢復したるを以て一行に加はり渡韓する旨通知ありたる由なれば是れにて番附面の力士は總出の筈也

▲宇佐川總裁の力癖 東拓會社の宇佐川總裁は一行の爲めに角力場を貸與し又は上覽角力斡旋の勞を取る等頻りに力癖を入れつゝあり

▲諸角力の宿割 十六日中に確定の筈

▲常陸山の引張凧 日韓瓦斯の岡崎氏は水戶出の所以を以て常陸山を自宅に入れんとしたるに天一の遠山氏は又之れを自宅に招せんとして兩氏睨み合ひの姿なりとは御愛嬌なりと云ふべし

▲韓皇上覽相撲

廿四日と確定せり

西方 橫綱梅ケ谷

▽十有餘萬圓の資産家

東の橫綱常陸山の豪らい事は前號に書いた通りであるが、如何に常陸山が天下一の力士でも、他に常陸に比ぶべき力士が弱く小さかつたら彼れも亦た餘りに光彩が乏しいのである、けれど、けれど彼をして層一層の光彩を發揮せしむるのは彼れの敵手として、梅ケ谷あればこそといはねばならぬ、梅ケ谷は常陸山の敵手として、眞に好敵手である、常陸の恐るべきは梅、梅の强敵とするは常陸である、天下の橫綱として梅も亦大いに誇るべきである、彼は越中新川郡水橋町押田君中の十男音次郎とて當年三十三歲である、十五歲の時當時天下無双の大力士と云はれた今の取締雷時の梅ケ谷藤太郎に其非凡な體軀を見出され同人の養子となつて上京し同年即ち二十五年の五月初めて回向院の初土俵を踏んだのである爾來彼れの技倆は剗々發達し二十歲にして入幕、入幕早々當時の橫綱小錦を倒し僅かに二場所を經て關脇に昇進し間もなく大關となつて前名梅の谷音松を改め養父の前名梅ケ谷藤太郎と名乘り遂に橫綱の榮位に昇つたのである、彼れや一見愚の如く、才無きに似て仲々に然らず、相撲も上手にして人物も怜俐で橫綱として貫目に缺けたる所は無いのである、彼れは常陸の如く洋行もせず又代議士たらんとの野心も起さず又起しも得ない、しかし體量四十二貫を有する怪偉なる、象の如く、太鼓の如き彼れの腹は相撲社會稀有にだも見易からざるの腹である、其の腹、唯我獨尊である、而り唯我獨尊と云はねばならぬ、扁平な顏、不格構な尻も、彼れが餘りに巨過ぎるが故である、彼れの得手は鐵砲の突き出し、左四つの寄切り、吊出し等である、彼れの鐵砲を食つて得耐るもの幾人あるだらう彼れの腹へ乘せられたが最後、幾程藻掻いても跳ても、もう駄目だ、是れには常陸でも助からないのである、然るに彼れは本年の二場所は不幸病氣の爲め充分出勤さへ出來ず、世人は早くも彼れの老衰を稱へるものあれどまだ〳〵三十三の男盛り健康さへ恢復すれば再び當年の勇を奮ふ事が出來るのである常陸と梅寶に日本帝國の活たる一對の裝飾である、玆に特筆すべきは彼れは至つて物堅い性で酒も多くは呑まず品行も頗る方正にして妻せんとの間には一男一女あり、養父の雷は人も知る如く着實なる人物にして其妻さしも堅ければ娘たる梅の妻も堅く二代續いて橫綱を張り又力士二代で十餘万圓の資産を作つたのも珍とすべきである。

●朝鮮新聞社演藝團

▽十八十九の兩日開演

朝鮮新聞社演藝團の催しにかゝる第四回演劇は來る十八、十九日兩日仁川歌舞伎座に於て開演する由登場俳優は何れも素人連なるが思ふに回を重ぬるに連れ修練の功現はれ一層の盛況を呈するならん藝題は左の如し

博多二〇加（隱亡の追剝）伽羅先代萩 累物語（埴生村より土橋迄全二幕）忠臣藏七段目（一力之場一幕）太功記十段目（尼ケ崎之段一幕）

▲平民文庫▼

▲民團役所の學務主任書記の岡君は日の出小學校長の貴社の記事に關して頻りに熱を吹いて居る曰く河合君は理事廳には受けが善くないらしいが民團側では徹頭徹尾之れに反對する況んや新聞が書いた位では屁とも思はぬ計りか益々此れを保護する方針だと（一父兄）▲我輩も夫れは聞いて知つて居るが夫れは民團の方針ではなくて岡なるもの〻方針だらう笑つて居れば濟みます理事廳側の思惑や新聞記事は屁とも思はぬ程の自信があれば結構だ惡氣寧ろ愛すべしだ（風聞子）▲本町五丁目のとある吳服店に行つたが主人は御世辭もよく品物も隨分安値なのがある（夜行生）▲南大門通（長谷川町との十字點附近）の暗渠は先日の大雨にて氾濫せしが其後今に汚水渠中に充溢し居れり時節柄注意を望む（心配生）▲本町一丁目山本と云ふ小間物屋は正直者揃ひにて何時でも四五人の客絕ゆる間はない吾藥使ひの善いのも一つの原因だらう益々勉强し玉へ（感心生）▲天下の橫綱常陸山君渡韓するとのこと此の期を利用して大々的縣人會を開かんことを希望す（茨城縣人）▲朝鮮日報社に年頃十七八の正直な配達人あり聞く所に依れば中學校の三年生で成績優等だと僕は彼の健全にして將來の成功を祈る（感心生）

胃腸新薬
タカヂアスターゼ
韓國總代理店
仁川本町二丁目電話八五〇番
竹田津三平

一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付
特別安價に賣却仕候間御望の
方は御來駄被下度願上候
建築業 柴田芝六
京城旭町三丁目
電話五百六十八番

表具部開業
額屏風天井壁張及表裝一切
並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任 網島久雄
眞光小太郎
電話(五六八)

京城曙町(電話二一八七番)

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

天下無敵高等紙卷
美術寫眞入煙草
月世界
TSUKISEKAI
品質良好
香味佳良
原料精撰
價格低廉
製造元
大石商會本店
發賣元
西大門驛前
大石商會出張所

無音式の一大好評
萬天下に大好評を得たる專賣特許小原式石油厨爐は又々一大改良を加へマッチ一本にて點火すれば本器の最も忌むべき音響絶對になくれ無烟無臭無音にて最大强熱瓦斯と變火し飯湯煮焚火を起し魚肉を燒く等一般の料理を即座に用を辨ず一時間の石油消費三勺一升の水七分間沸騰一升の飯十八分間出來上る眞に無くてならぬ一大經濟の用具なり說明書申込次第送呈す特約販賣御望の方は御相談に應ず模造品あり小原式に御注意
韓國總代理店
京城本町三丁目
辻清和洋金物商店
電話九五九番
和洋金物大畧取揃有之候に付御用命被下度候
營業品目錄御入用の御方へは送呈す

ゆかた地大賣出し
來る十五日より
二十五日まで
正札より五歩引
外に見切反物澤山取揃置候
京城本町三丁目
圓城呉服店
(電話一五七番)

登録商標
天下一品
の
清酢飛梅印
釀造元 尾道市 野間直兵衛
特約店 京城本町四丁目 前田商店 電話一二七番
同五丁目 大上商店 電話二五一番

韓語大成
値上廣告
一部一圓八十錢
郵送料十五錢
從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正增補致候間前記の通り値上候也
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國二五六番

東京火災海上運送保險株式會社
明治卅年七月創立
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口呉服店電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

增築御披露
御待合 紅葉
京城南大門通三丁目光宣門側(電話一三八二番)
四方粹客樣方の御引立に預り手狹を感じ往々折角の御運びを御斷り申候等不本意千萬に有之候に付今般改築間數も增加殊に浴室の設備も致何時にても用意罷在申候間不相變御狂駕の程奉希上候

資本金壹百萬圓
大阪火災海上運送保險株式會社
(本社大阪東區備後町)
京城代理店
官製煙草元賣捌店
京城本町四丁目
三共商會
電話四一三番
保險料は低廉にして極めて簡便に御契約可仕候

六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢

東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

高等旅館
平壤大和町
浪花館
電話一三四番

●尺八指南(東京琴古流)
御希望之方ハ至急申込アレ
拾名ヲ限リ募集ス
●三味線のはりか
ねはどこがよいで
あろうか
はりがよくて
ねだんの安いは
京城本町五丁目郵便局前
米川三味線店に限る
其他月琴洋琴尺八笛類一式
安價販賣仕候

高等牛乳
滋養强壯
韓國畜産株式會社
南大門外
電話八八番

內科 小兒科 外科 入院
梅毒淋病
隨意
京城壽町三丁目
高井醫院
電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

御料理
貸席
和樂園
高田家
△米倉町 電九三七番
○料理は萬事れてがるにて高尚
○園內は至極閑靜にして別世界
○土地高燥にして見晴し京城一
殊に大廣間設備も有之御集會宴
會には精々便利に御用命に應候

景福宮拂下 建物 温突 賣却
瓦斯コークス販賣
京城南山町三丁目(電話二四九番)
酒井組出張所

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士
中島貞信

韓國銀行
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、咸興、羅南、安東縣、新義州、
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、長崎、
韓國 公州、光州、晋州、全州、開城、海州、沙利院、博川、
淸國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、
其他 漢口、上海、
外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

特約販賣
自製
味噌醤油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
新茶
ビール
大賣出し

和洋農具並ニ養蠶具器械一式
純良農産種子養成販賣○果樹、山林、庭園用苗木
觀賞用植物苗木類、肥料
京城東大門外靈島 興國農園種苗養成所
諸官衙御用達
京城本町一丁目六十五番戶
三輪商會
電話三八六番

諸官衙御
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐ヂシン
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
鐵道院合資會社大阪販賣特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 東京電話新橋三六九二

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候